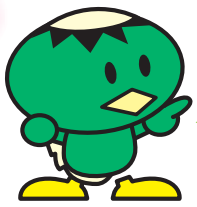
子育て世代の皆さまへ～水道水の安全性のお話～

◎赤ちゃんが生まれて１週間、今日は、水道水を沸かして粉ミルクを溶かし、初めて哺乳びんを使って飲ませます。



県営水道から一言

県営水道では、150項目以上にも及ぶ水質試験を定期的に行い、水道水の安全性を確認していますので、赤ちゃんに与えるミルクなどをつくる水としても、安心してお使いいただけます。

＜検査結果は、次のホームページに掲載しています。＞

- 水質基準(50項目)の検査結果については、http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360544/
- すべての項目の検査結果については、http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p536681.html

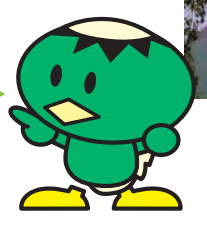
◎子供も大きくなった、ある秋の日、家族３人でハイキングに出かけました。

子供　「パパ、ママ、大きな湖が見えてきたよ！」
パパ　「あの湖は、ダムで川の水をせき止めて、つくっているんだよ。」
子供　「どうして湖をつくったの？」
パパ　「ダムにはいろいろな役割があるけど、生活に必要な水道水を、いつでも必要なだけ安定的につくれるように、川の水を貯めておく役割もあるんだよ。」
ママ　「そうね。水道水も、自然の水からつくられているのね。」
パパ　「今度、水道水をつくっている浄水場にも行ってみよう。」
子供　「ワーィ、行ってみよう！」

県営水道から一言

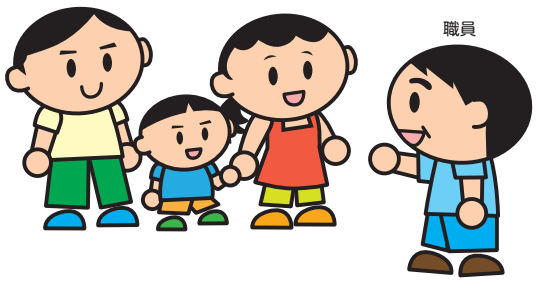
県営水道の主な水源である相模川は、その上流域の山梨県では桂川と呼ばれ、その源をたどると、忍野八海や山中湖にたどり着きます。水道水は、このような川の水からつくられています。

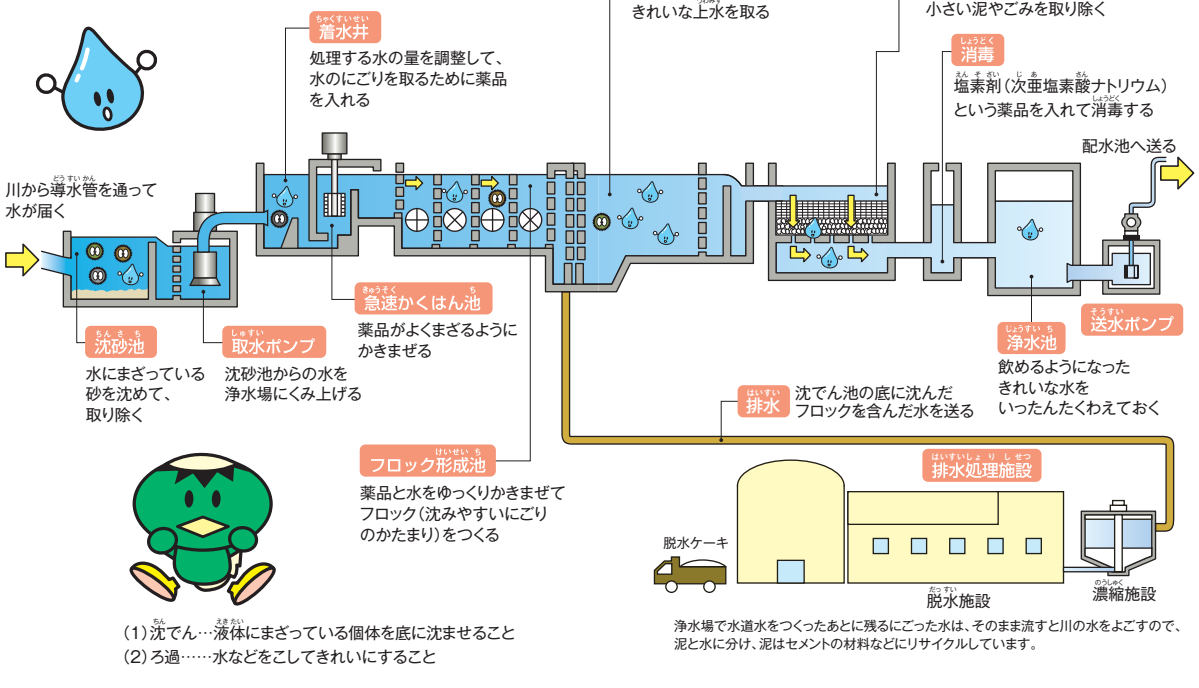
県営水道では、こうした水源の水質調査も定期的に行いながら、浄水場で常に安全で良質な水道水をつくり、お客さまにお届けしています。



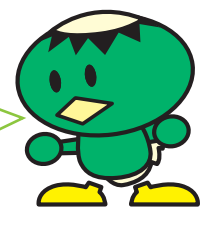
◎毎年の６月に浄水場施設開放デーが開催されているので、家族３人で寒川浄水場を見学しました。

子供　「浄水場の中を水が流れていく間に、少しずつきれいになっていくよ。どうしてなの？」
職員　「浄水場では、川の水の濁りを沈めて取り除いているので、つくられた水は透明になっていきます。」
子供　「透明できれいになっているから、もう飲めるの？」
職員　「沈でん池の上水は、見た目はきれいだけど、まだ、小さな泥やごみがまざっているので、この後に、ろ過して、塩素剤という薬品を入れて消毒してから、安心して飲むことができる水道水として、送り出しています。」
ママ　「塩素って独特の臭いがあるけど、最近の水道水って、塩素の臭いがそれほど気にならないわね。」
職員　「県営水道では、おいしい水をお届けするために、浄水場から送り出すときの水道水の塩素濃度を下げることに、取り組んでいるからです。」





県営水道から一言

日本では、じゃ口をひねれば、いつでも安心して飲むことができる水道水が出てきます。水道水は塩素によって消毒されているため衛生的で、しかも、安くて豊富に使用できるという利点があります。

このような水道水の利点は、お子さんの健康を守るため、様々な場面で活用することができます。例えば、普段の手洗いやうがいはもちろんのこと、小さなすり傷を負ったときに、水道水を流しながら、傷口を洗い砂や泥などの異物を取り除くことで、治りを早くすることができたり、汗を大量にかいたときに、こまめにシャワーを浴びるなど、身体を清潔にすることで、あせもなどを防ぐことができたりします。